

横浜市立川和東学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○職員一人ひとりが向上心をもって主体的に学校経営にかかわり、チーム川和東として組織的に進化し続ける学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりをしっかり見取り、個に応じた学習方法を工夫し、子どもが楽しく意欲的に取り組む授業を目指し、学力の向上を図ります。 ・児童理解・児童指導に重点を置いた学校経営を行い、全職員で「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指します。 ・大規模校の特色を生かし、学年及び学年を超えた教育活動を展開し、子どもの興味関心を生かしたダイナミックな教育活動を通じて社会性を育み、お互いに認め合い自他共に大切にする、温かな学校を目指します。 ・保護者・地域・その他関係諸機関と積極的に連携を図り、子どもの豊かな成長を保障し、信頼される学校づくりを進めます。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

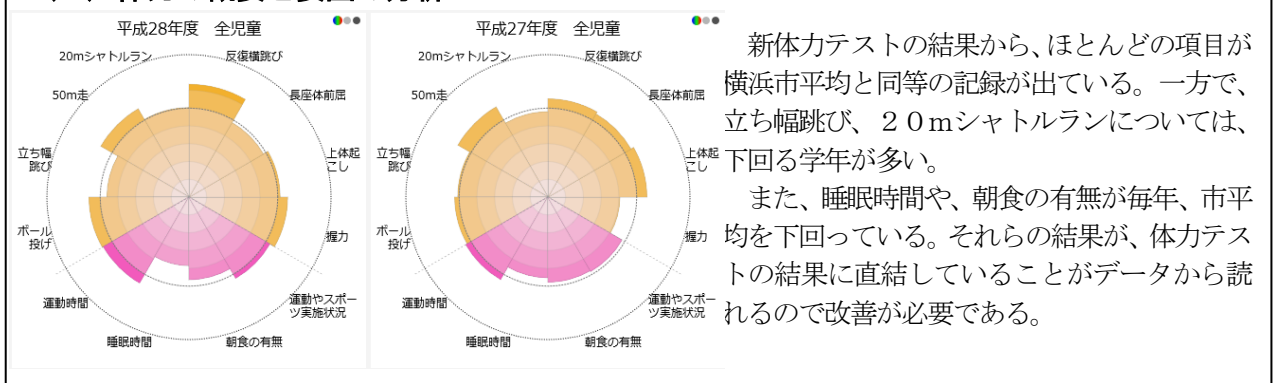
重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	<p>基本的な生活習慣を定着するとともに、多様な実践運動を計画的に実施し楽しく運動に取り組むことを理解させ、体力および健康・安全面の向上を目指す。</p>	<p>①一校一実践運動に「学校オリンピック」を取り上げ、学校オリンピック（マラソン・鉄棒運動・まとあて・幅跳びなど）活動を通して体力の向上に励む。</p> <p>②縦割り活動で取り組む「長縄集会」を通して、異学年交流の充実とともに体力の向上に励む。</p> <p>③けが等の予防を進める。</p> <p>④食に対する興味関心を高める。</p>
担当	<p>体育部・保健部・給食部</p>	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・夏も冬も、元気に外遊びをする子どもが多い。児童数に対する空間の確保は十分ではないが、ピロティや体育館などたくさんの場所を開放し、学年ごとに使える曜日を決めて遊んでいる。
- ・基礎的な技に関しては、市平均と比べると通過率が高い。だが、発展技は市平均を下回る。
- ・体育学習では、友達と教えあいながら取り組むことに楽しさを感じている児童が多い。また、担任から称賛を受けることで意欲を高めている児童も多い。
- ・歯科巡回指導では、とても上手に歯磨きができている児童の割合が市平均を上回っている。低学年の頃から、丁寧に磨いていこうとする意識が保護者も児童も高い。

(2) 体力の概要と要因の分析



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- ・基礎的な技の定着を図るとともに、段階をおって発展的な技にも取り組むことができるように、学習の場を工夫する。
- ・新体力テストや生活実態調査の分析により、本校児童の特徴・傾向をつかみ、体力づくりの実践に生かしていく。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、健康な生活や成長に必要な栄養について知る。
- ・学活や道徳では、自分の生活について振り返り、よりよい生活を目指す。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育科で培った資質能力をさらに発展させる。
- ・児童保健委員会では、けがや健康面での課題について話し合い、健康的で安全な生活の送り方について全校児童が認識を深めることができるように発信する。
- ・6年ではバイキング給食を実施し、食に対する興味関心を高めるとともに、自分に合った食事の量を知るきっかけとする。

課外活動

- ・「学校だより」「保健だより」「給食だより」による家庭への周知、啓発
- ・地域主催のスポーツ大会への協力（運動会、グラウンドゴルフ等）
- ・学校保健委員会での調査、分析

令和2年度 川和東学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 学校オリンピック

《ねらい》 運動機会の確保、

《内容》 運動委員会（児童）が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

種目例：マラソン、鉄棒運動、まとあて、ボール投げ、立ち幅跳び

●指標： ①行事後の振り返り 「事前取組」「満足度」

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。